平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	9	ー	59

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	産業観光まつり運営助成事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		商工観光係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	花松賢一
事業の概要	町の物産と観光を広く町内外に紹介し、農林水産業及び商工業の振興を図るとともに、全町民参加型の祭典として毎年6月に開催している。 内容は、特産品の展示即売・各種アトラクション・ゲーム等。			全体計画 ／単年度繰返 （平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	1,000 千円
					一般財源	15,000 千円
					事業費計	16,000 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	

事業の位置付け	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～
	基本施策	5	観光の振興
	単位施策	1	雄武観光の売り込み
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務
	その他計画・根拠等		

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
	合計	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	雄武町産業観光まつり実行委員会
【抱える課題やニーズは】	付加価値複合品の開発・販売等PR、核となるアトラクション等の確立
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	魅力あるアトラクション、付加価値販売品目の創造
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	魅力あるアトラクションと付加価値販売品目の創造による集客増

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

入込み観客数

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 開催回数	目標年度	平成23年度
	目標値	1 回
	実績値	1 回
	達成度	100.0 %
② 入込観客数	目標年度	平成23年度
	目標値	30000 人
	実績値	30000 人
	達成度	100 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
補助金の支出	産業観光まつり開催に対する補助金の交付

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	町の物産と観光を広く町内外に紹介し、農林水産業及び商工業の振興を図るとともに、全町民が参加できる唯一のイベントであることから、必要と判断する。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	町民参加型アトラクションの実施や、特産物が安価で購入できるといったこともあり、昨年度と同じ3万人の来場者を迎えたことは、有効と判断できる。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 ■人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	実行委員会各構成団体にあっては、限られた予算・人員の中で企画実施しており、効率的と判断する。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町民広くを対象としたイベントであり、公平であると判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
町の特産物が安価で購入できるとともに、各種アトラクションで楽しめることから、町外からの集客も多く、今後も農林水産業・商工業の振興・観光PRのため継続実施が必要と考える。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
ここ数年、集客が順調に推移しており、今後も農林水産業・商工業の振興・観光PRのため継続実施が必要と考える。また、これまでにないアトラクションの実施や既存特産物に付加価値をつけた商品の開発・販売を実施すべきと考える。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）